
Blaklist ~ 勇者ヒロポン

地球のど真ん中

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Blacklist 勇者ヒロポン

【Nコード】

N6985D

【作者名】

地球のと真ん中

【あらすじ】

いつも村でのんびり暮らしている廣田^{ひろた}。そこにサタンクロスが現れて！？

永遠不滅サタンクロス

勇者ヒロポン…… ある夜。

子供達の悲鳴と共に

廣田は剣を持って走った。

サタンクロスがきたのだ。

廣田が隣りの

けつ毛 臭いさんの家に着いた時には
既に親は殺されていた

「臭いさん！」

廣田は臭いさんに呼び掛けるが返事が無く、怒りがこみ上がった。

「来たか！勇者ヒロポン！」

サタンクロスは叫ぶと『紅い槍』を構えた。

「怖いよお」

泣き叫ぶ子供。

廣田は怒りを剣にこめた

勇者ヒロポンはサタンクロスを倒すために
戦うのだ！

臭いさんは死んだけれど

けつ毛家の子供を守るべく！

勇者ヒロポンは立ち上がった。

対戦

サタンクロスは廣田に襲いかかった

槍で突く。

廣田はスツと躲して剣で、槍を叩き落とし、サタンクロスを蹴り飛ばした。

「やるな勇者ヒロポン！」

サタンクロスは槍を回し始める。

「本気で行くぜええ」

回転している槍を廣田に向って投げる。

廣田はとっさに躲したが、腹をかめた。

ジワリッと血が滲む。

やるしかない！

天国で見えてくれ、臭いさん！

「俺も行くぜ！『黒い槍』！」

廣田が叫ぶと剣は黒い槍になった。

「なっ

『黒い槍』だと！？」

う　こより強いじゃねえか！

なんだこの威圧感！

俺がゲロフィッシュのような感じまでしてくるぜ！

『鼻毛』とは才違いだ」

サタンは槍を回し続けながら言う。

「鼻毛じゃねえ！

『けつ毛』だあ！」

「くらえええい！」

サタンクロスは『紅い槍』を投げた！

「よつと」

廣田は横に避ける。
だが

「危ない！おじいちゃん！」

子供が叫ぶ。

「おじいちゃんじゃない！」

しかも避けたから平気だよ！」

スパア！

左肩から血が出る。

「！！！」

サタンクロスの手には紅い槍がある。

スパア！

今度は左足。

サタンクロスは二本の紅い槍を使っていたのだ。

「ちょ！ブーメランかよ！

餓鬼！

ちゃんと言えよ！」

「餓鬼じゃない！

魔王、けつ毛〃臭うだ！」

対戦（前書き）

感想欲しいっす

対戦

「どうしても……いいわい！

肩痛いし！

足痛いし！

お前が魔王だったら臭うにもほどがあるよ！」

『黒い槍』を右手で持ちながら、廣田が言う。

「勇者ヒロポン！

確かに貴様は強いが、俺様には勝てないようだなあ！」

はっはっはっはっ！と笑いながら、サタンクロスは叫ぶ。

「どうかな！避けるのは難しいけど！」

と、廣田。

「ここが貴様の墓場じゃあ！

ポケエ！

なすっ！

ち カスがああああ！」

紅い槍を両方回し始めるサタンクロス。

「アディオース！
勇者ヒロポン」

サタンクロスは『紅い槍』を両方投げる。

だがしかし。

カランと音を立てて地面に落ちる。

「たたき落とせばいいんじゃない」
つと廣田。

「なっ！」
想定外だったサタンクロスに容赦無く『黒い槍』で突く。
「アディオース、リターン！」

サタンクロスの腹に刺し、横に振る。

腹の半分、切れると、切られた部分が黒く燃え上がり、サタンクロ
スは灰とかした

「臭いさん！敵はとつたぜ！」

廣田は外に出ると

戦いは終わり、外に出ると
そこは死体の山だった

「うあああああ」

廣田は叫んだ

そう。

サタンクロスは一人じゃなかったのだ

地面を殴り付け、膝は地面に付く。

黒い槍はいつの間にか剣に戻っていた。

「おっちゃん……」

子供の問い掛けに答えない。

「おっちゃん……」

子供の問い掛けに答えない。

「おっちゃん……」

子供の問い掛けに答えない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6985d/>

Blaklist ~ 勇者ヒロポン

2010年10月11日12時25分発行